

2025年02月 現在

Fujitsu Software

WSMGR APIオプション V9.6.0

WSMGR APIオプション V9 は、WSMGR V9のオプション製品です。本商品はWSMGR V9に付加することで、PCをホストコンピュータと接続し各種連携業務を行うためのインタフェースを提供するソフトウェアです。ホスト端末ディスプレイのユーザインタフェースにとらわれることなく、自由に作成されたアプリケーションプログラムを動作させることができます。また、WSMGRのAPIインタフェースを利用したプログラムを作成するための開発キットを提供します。本商品は、富士通ホストコンピュータのみに対応しています。

- ・ クライアント

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ クライアント

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows Server 2025(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

1. アプリケーションインタフェース(API)

(1) WSAPI

富士通ホストとのホスト連携プログラムを構築するための4つのAPIを提供します。

- ・WSMGRCTLインタフェース

ホストコンピュータとの接続、切断、WSMGRの状態の通知などを行うインタフェースです。

- ・キー入力/画面表示インタフェース

エミュレータ機能の表示画面データをコード化して通知します。またエミュレータのキーを押下する代わりにアプリケーションからキーを通知する事が可能です。この機能を使用することによりホスト側を変更することなく、PC側のユーザインタフェースを自由に構築できます。

- ・DUETファイル転送インタフェース

アプリケーションから指定したファイルの送受信が行えるインタフェースです。

- ・DUET会話インタフェース

ホストアプリケーションとの会話機能を提供するインタフェースです。

(2) ActiveX/OCXインタフェース

DSPEMU/PRNEMUと連携し、キー入力・画面データの取り出し・ファイル転送などをアプリケーションからコントロールすることができます。

2. 利用分野/適用業務

富士通ホストコンピュータと接続し各種連携業務が可能です。

(1) アプリケーション開発により自由なユーザインタフェースの構築

(2) ActiveX/OCXによるアプリケーションとの連携

3. WSMGRソフトウェア開発キット

WSMGR V9のAPIインタフェースを利用したプログラムを作成するための開発キットを提供します。

(1) インクルードファイル、ライブラリ

ホスト連携プログラムを構築するためのインクルードファイル、ライブラリを添付しています。

(2) サンプルアプリケーション

アプリケーションプログラムを作成するための手助けとして、サンプルアプリケーションプログラムのソースおよび実行形式ファイルを添付していますので、参考にして作成を行ってください。

(3) インタフェース

以下のアプリケーション向けインタフェースを提供しています。

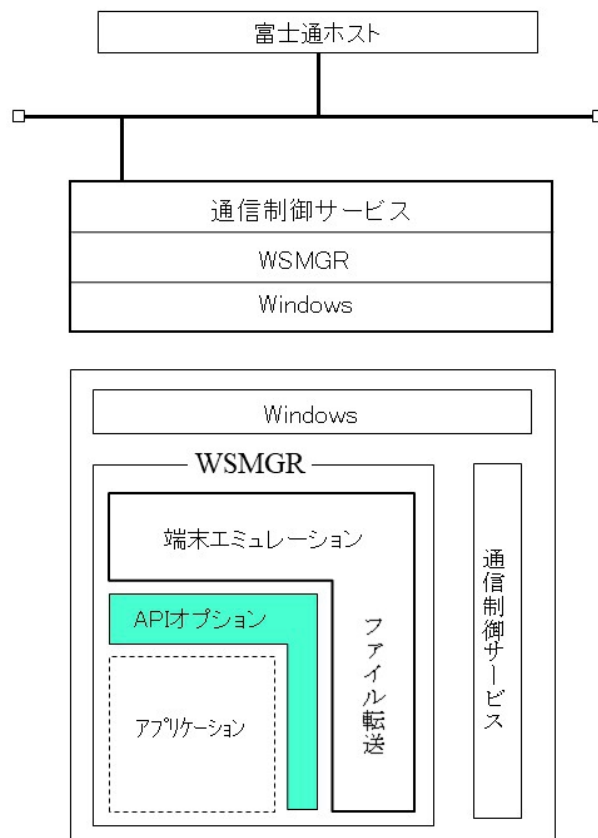
- ・WSAPI (F66XXターミナル用API)
- WSMGRCTLインタフェース
- キー入力/画面表示インタフェース
- DUETファイル転送インタフェース
- DUET会話インタフェース
- ・ActiveX/OCXインタフェース(API)

4. GUIモード連携機能

WSMGR V9のGUIモードと連携することで、端末エミュレータ画面の各フィールドを、RPA (Robotic Process Automation) ツールから認識可能であるGUI部品として表示することで、RPAツールから操作することが可能となり、端末エミュレータ操作を自動化することができます。

5. 接続形態

WSMGR V9に準じます。



V9.3.0からV9.6.0 の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Windows Server 2025に対応

動作環境としてWindows Server 2025に対応しました。

【メディア】

- ・ WSMGR APIオプション メディアパック(64bit) V9.6.0

【ライセンス】

- ・ WSMGR APIオプション 1ライセンス(月額) V9
- ・ WSMGR APIオプション 20ライセンス(月額) V9

1. メディアパックの種類について

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。また、WSMGR APIオプションを利用したアプリケーションは64ビットアプリケーション、およびWOW64(Windows 32-bit On Windows 64-bit)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)
- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)
- Windows Server 2025(64-bit)

Windows Server の Server Core、およびNano Serverはサポート対象外です。

V9.6.0より、本商品のメディアパックは64bit版のみの提供になります。32bit版は提供されませんので、32ビットOSで動作させる場合はV9.3.0を手配してください。

なお、WOW64サブシステム上で動作させる場合は、64bit版のメディアパックを手配してください。

2. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD-ROM等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

3. 月額ライセンスについて

V9より、従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。初期導入コストを抑制し、使用期間に応じた購入が可能です。インストール用のメディアは付属しておりませんので、別途メディアパックを購入してください。

4. ライセンスの購入単位について

本商品は、コンピュータ1台毎に1本購入してください。複数台のコンピュータに適用する場合は、その台数に応じたライセンス数の購入が必要です。

5. リモートデスクトップサービス(RDS)/XenApp運用時の購入方法

- (1) 本商品を利用予定のRDS/XenAppクライアント毎にWSMGR、通信制御サービスのライセンスが必要です。
- (2) RDS/XenApp クライアント毎に起動されるユーザアプリケーションがWSMGR API オプションを使用する場合は、ユーザアプリケーションを利用するクライアント毎にWSMGR APIオプションが必要です。
- (3) 利用可能な環境についてはWSMGRのソフトウェアガイドを参照してください。

6. V9.0.0以降からのレベルアップについて

V9.0.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新レベルを提供します。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。(お客様からのご要求が必要です。)

- ・ WSMGR APIオプション V9.0.0/9.1.0/9.3.0

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新レベル商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

7. V7.1/7.2/8からのバージョンアップについて

以下の一括ライセンスをお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン／レベルを提供します。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。(お客様からのご要求が必要です。)

バージョンアップ後もライセンス形態は一括ライセンスのままとなります。

・WSMGR APIサポート V7.1/7.2/8

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン／レベル商品を改めてご購入いただく必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

8. ダウングレード使用について

本商品のライセンスを購入することにより、本商品の旧バージョンを使用する権利を得ることができます(以降「ダウングレード使用」とします)。

「ダウングレード使用」を適用する際には、旧バージョンの商品のインストール媒体をお客様が既に購入されていることが前提となります。

購入が必要なライセンス数については、本商品のライセンス購入方法にしたがってカウントします。

なお、ダウングレード使用権を用いて、1つのライセンスで本バージョン商品と旧バージョン商品を同時に使用することはできません。

また、本商品の次バージョン以降を使用する権利はありません。

「ダウングレード使用」可能な商品は、以下のとおりです。

・WSMGR APIオプション V7.1/7.2/8

1. 実行環境として必要な商品（必須）

本商品の実行環境として、以下の商品が必須です。

- ・ WSMGR V9（注）

注：GUIモード連携機能を利用する場合は、WSMGR V9.1.0以降が必要です。

2. WSMGRソフトウェア開発キットを使用する場合

- ・ Microsoft Visual Studio 2015/2017/2019/2022

なし

1. Windows OS(64-bit)上での動作

本体製品とOSの組み合わせにより動作が異なります。詳細は購入方法1項「メディアパックの種類について」を参照ください。

2. WSMGR APIサポートとWSMGR for Web APIオプションの違い

本商品はWSMGR for Web APIオプションとは異なる商品です。提供するAPIが異なるため、WSMGR for Web APIオプション用のアプリケーションは動作しません。

3. 前版との違いについて

[V9.3.0との比較]

32bitのメディアパックは提供されなくなりました。32bitについてはV9.3.0を手配してください。

また、下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 8.1

[V9.1.0との比較]

特にありません。

[V9.0.0との比較]

下記OSでの動作はサポート対象外となりました。

- ・ Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7

[V8.0.0との比較]

- ・ 従来の一括ライセンス商品から、月額ライセンス商品に変更になりました。

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（WSMGR）**

本商品の詳細情報、サポート期間を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/wsmgr/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>